

## 資料 8 熱供給に関する資料

現時点での熱供給に関する条件を以下に示す。

詳細は実施設計時にごみ処理施設と調整し、設定すること。

- ・ 温水取合い点での温水の温度：105℃
- ・ 温水取合い点での返送温水の温度：85℃
- ・ 屋外配管：取合部配管 STPG-370 Shc40  
取合配管以降については事業者にて配管径及び材質を提案のこと。  
配管取合い点は地盤面 - 300mm 程度
- ・ 場外用温水循環水量（ポンプ揚程および吐出量含む）：事業者にて提案のこと。  
（参考：ごみ処理施設側での最大熱交換量 5,300MJ/h とし、63m<sup>3</sup>/h 程度で供給の想定）
- ・ 配管の長寿命化のため、温水循環水系統は閉ループ機構とすること。
  
- ・ 温水には純水を使用。循環水の補給はごみ処理施設側にて実施予定。
- ・ ごみ処理施設側の高温水熱交換器は、年 1 回の開放点検を実施する予定。
- ・ 提案時の運転計画は下記のとおり  
2 炉運転期間：下記以外  
1 炉運転期間：7/1～30、10/17～11/8、11/16～11/30、3/9～3/28（合計 90 日間）  
全炉停止期間：11/9～11/15（7 日間）  
※ごみ搬入計画等により変更する見直す可能性あり。
- ・ 運用に際し、ごみ処理施設側と密に連携を取り、業務の偏りが無いよう協力すること。

以上